



くにあ ふるさに したしむ

34 がんばれ まごべえ

ながおかしの 長岡市の やまこしの 山古志ちいきでは、ごがつ 五月から

「うしの つのつき」が はじまります。

ぼくは、つのつきが だい 大すきです。

うしと うしが ちから 力いっぱい たたかう

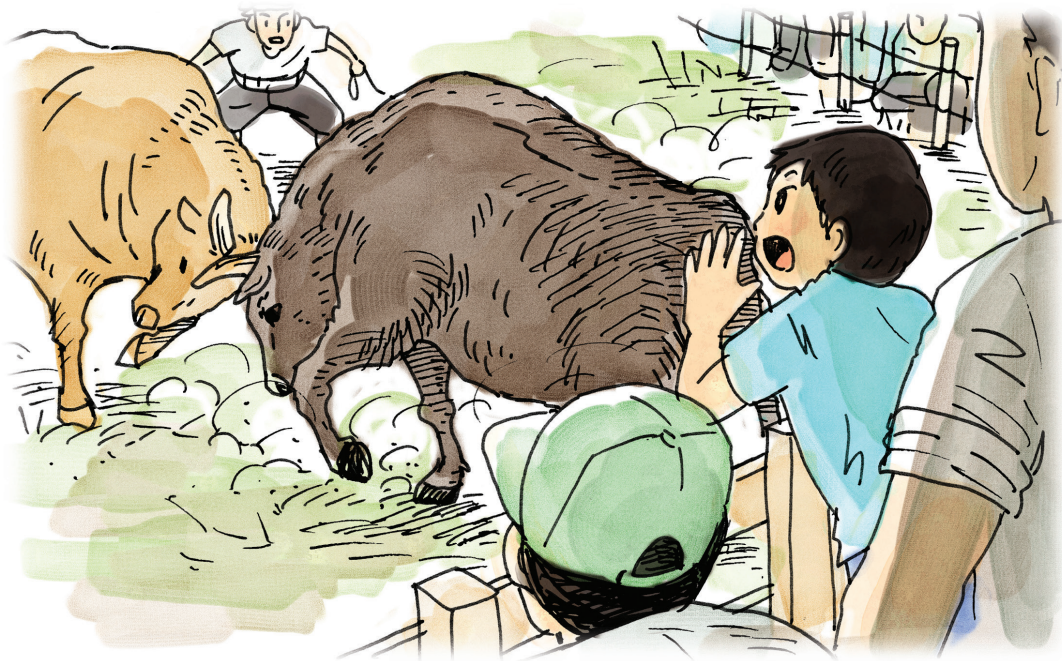
すがたが、かっこいいからです。

ぼくが いちばん すきな うしは、

まごべえと いう うしです。まごべえは、あいてを ぐつと にらんで たたかいます。

いよいよ、よこづな まごべえの ばんに なりました。

ぼくは、さくに つかまって、



「まごべえ、がんばれ！」
と、さけびました。

ほかの まち 町から きた たくさんの
おきやくさんも、ぼくと いっしょに
なって、おうえんして くれました。

たたかいおわった まごべえに、
大きな おお 大きな はくしゅが おくられました。
ぼくは、じぶんが まごべえに
なったような いい 気分でした。
つぎの つのつきも ぜったいに
見に いきたいです。

編集委員会 作

★まごべえに 大きな はくしゅが おくられた ときに、「ぼく」は どんな
気分になったでしょう。
●きょうの じゅぎょうで かんがえた ことを まとめましょう。